以下のアンケート結果について【ご意見・ご感想】をお聞かせください

13.その他，次世代の自治体広報や，環境負荷低減について，何かございましたらご記入ください(FA)-1

SNSの活用

- LINEやメール等の活用。
- SNSも活用してみては。

- ①全体的にペー数の削減は必要に感じます。例１.報告事項は簡潔にしても良いです。例2‥個人の作品発表は他の分野との平等性から受賞作品を掲載するとか検討必要と思います。②お知らせとか、広場とか周知したい内容により、対象年代が若い場合は詳細はQRコードに移行することを増やすことも良いと思います。③段階的な改善策として、配布については、拠点配布とか、試行的に導入しても良いと思います。

やはラジ関連

- コミュニティラジオの廃止、当該予算を他メディアに振り向けること
- やはラジの普及とやはラジでの情報発信。広報を読み上げる、と言うのもいいかもしれません。

Webへの移行（積極意見）

- web閲覧への移行
- WEB主体にすべき
- インターネット(ウエーブ)で見れるようにするのが一番です。今はまだ見れない人のための対策も必要ですが、あと10年もしたらインターネット化に絶対なっていると思います。
- 紙の廃止。配布希望調査。
- 紙は削減すべきなのでweb版への移行は必須かと思う。
- 紙ベースでの広報配布は負担が配布などの面で負担が大きいので電子化するべき。
- 段階的にWebへ移行しても良いと思う
- 町のHPの充実、検索のしやすさ
- 徹底的に無駄を省く必要あり。そもそも一度しか見ないものに高品質な用紙を使ってのカラー印刷は必要ない。環境負荷低減云々なら、アンケートなど取らずに紙媒体を止めるべき。無くても良いものは無くすことを早く決断することが大切だと思います。ホームページで見られるように、まず、やってみましょう
- QRコード化や定期メールサービスへの切り替え
- 内容を簡潔にして、『詳細を知りたい方は、こちらのQRコードで』にしてもらって、充分です。
- ペーパーレスを望みます
- ペーパーレスをすすめることには賛成するが、電子情報についても配信方法を考えてほしい。コロナワクチン接種のためライン登録したが、広報が発行されました等の不要なのもが送られできて迷惑。やめようかとも思ってる。見たいとき、必要なときに見られる環境を整備して頂ければそれでいい。

Webへの移行（消極意見）

- 何でもwebという風潮に反対です。必要なものは無駄ではありません。
- 年配の方は、紙の方がいいという方が多いかもしれないので、年配の方の意見も聞いてみたほうがいいと思います。

- 冊子は辞めて、電子化を進める
- 冊子版はやめて、ラインからいつでも検索できるようにする。
- 紙が当たり前だったわたしたちの親世代にとっては、ウェブ上での自治体広報は抵抗があるのかもしれません。ただ、これからの世代のために、自分たちができることはなんなのか、身近なことから考えてみたいと思いました。
- 紙により環境負荷が増えるためWEBにするというのは良いと思うが、WEBだと見にくい。高齢者には余計難しい。通信費負担が増える。



【対象のアンケートについ

2022年末に広報誌に折り込んで配布．回答期限を2023年1月末として，18歳以上を対象に呼びかけたところ，117件の回答を得た．

［性別］ 男性(47)，女性(70)　（※括弧内は件数）
［年齢］ 20代まで(2)，30代(27)，40代(22)，50代(20)，60代以上(37)
［職業］ 会社員(30)，無職(20)，パートアルバイト(18)，医療関係者(14)，公務員(11)，その他(24)

以下のアンケート結果について【ご意見・ご感想】をお聞かせください

13.その他，次世代の自治体広報や，環境負荷低減について，何かございましたらご記入ください(FA)-2

提言・懸案事項など

- 紙媒体を減らす有意性は理解するが、反面サービス低下に繋がりかねない。
- 自治会で配布をやめてほしい。配る担当の人によって遅くなることもかある。また、配布は面倒である。
- "自治体広報は重要なツールと思います。
- webでの運用が環境負荷低減に寄与しつつ、自治体広報の有用性が高まるのではないでしょうか。"
- 上述の問いにも答えていますが、テレビ朝日の活用が分かりやすい。ページは減る。
- 情報がほしい人は紙であろうがWebであってもみると思う。
- 全ての人がwebを閲覧できる状況にある訳ではない(特に高齢者)ので、冊子の広報の配布は継続する必要があると思う。現在の広報やはばは、他の自治体の物と比べると用紙も印刷も上質だと感じている。環境負荷低減を目指すのであれば、用紙や印刷の質を下げたり文字を小さくして総ページ数を減らしたりする等、工夫できる事があると思う。その上で配布を希望しない人にはweb版を見てもらう方法で良いと思う。ちなみに個人的には、全てweb版になった場合、読み取りのQRコードが届いたとしてもよほど重要な情報が載っていると認識しない限りわざわざ読み取ってページを開くことはない気がする。単純にその手間が面倒な気がするからである。

負担軽減案など

- 広報のほかに様々な組織のチラシが多いのでまとめて少なくしたらどうか。
- 広報の配布をやめることで、環境負荷の軽減だけでなく自治会役員の負荷も軽減されます。しかし、Webの環境が整っていない世帯へ情報が伝わりづらくなることを考えることが必要だと考えます。
- 再生紙での印刷
- 配布を減らすために2ヶ月に1回にする
- 矢巾アプリなどあればよいかと。
- 矢巾全体のWi-Fi環境設置



【対象のアンケートについ

2022年末に広報誌に折り込んで配布．回答期限を2023年1月末として，18歳以上を対象に呼びかけたところ，117件の回答を得た．

［性別］ 男性(47)，女性(70)　（※括弧内は件数）
［年齢］ 20代まで(2)，30代(27)，40代(22)，50代(20)，60代以上(37)
［職業］ 会社員(30)，無職(20)，パートアルバイト(18)，医療関係者(14)，公務員(11)，その他(24)